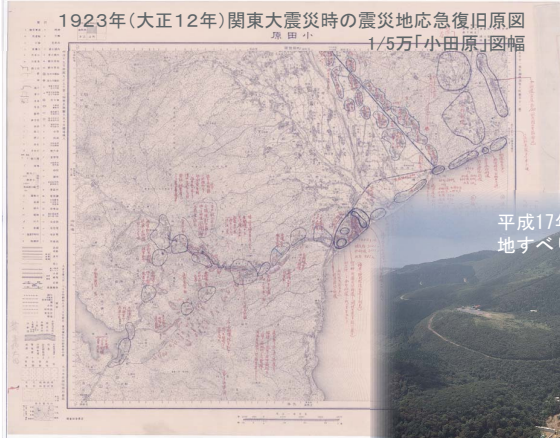


県民講演会 親子で聞く 土砂災害のお話

神奈川県の地形・地質と自然災害



第一部 1億年にわたる大地変動の歴史

—プレート境界域にできた神奈川の大地—
(講演者:平田大二先生)

第二部 神奈川県内の大規模で広範囲な 土砂災害の事例紹介

—富士山宝永噴火(1707)と関東地震(1923)による—
(講演者:井上公夫先生)

平成20年8月26日(火)14:00~16:00

講演者紹介



平田大二先生

神奈川県立生命の星・地球博物館
学芸部長

学芸員

<主な著書>

- ・新しい地球史(共著,有隣堂)
- ・かながわの自然図鑑1
「岩石・鉱物・地層」
(共著,有隣堂)
- ・新訂版 日曜の地学20
神奈川の自然をたずねて
(共著,築地書館)



井上公夫先生

(財)砂防フロンティア整備推進機構
参与・技師長

博士(農学)
技術士(応用理学部門)

<主な著書>

- ・地震砂防(共著,古今書院)
- ・天然ダムと災害(共著,古今書院)
- ・世界の富士山(共著,山海堂)
- ・建設技術者のための土砂災害の
地形判読実例問題—中・上級編—
(古今書院)

神奈川県立生命の星・地球博物館

〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499
箱根登山鉄道「入生田駅」(箱根湯本駅隣)から徒歩3分
TEL 0465-21-1515 FAX 0465-23-8846
URL <http://nh.kanagawa-museum.jp/>

県民講演会は、(社)日本地すべり学会と神奈川県立生命の星・地球博物館との共催で行ないます。

講演内容は、親子で興味を持てる箱根火山周辺の地形・地質の成り立ちや、周辺地域で過去に発生した土砂災害のお話です。

入場ご希望の方は、氏名とメールアドレスまたは、FAX番号をご記入の上、下記事務局までメールまたは、FAXでお申し込み下さい。

誰でも自由に参加できます。講演会参加費は無料です。

会場準備の都合上できるだけ8月22日(金)まで事前申し込みをお願いします。空席がある場合は当日参加も歓迎致します。

博物館では、7/19~11/9の間、特別展「箱根火山～いま証される噴火の歴史～」も開催しています。興味をお持ちの方は併せて観覧下さい。

平成20年度(社)日本地すべり学会 第47回研究発表会及び現地見学会実行委員会

事務局 〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和2-12-11

国土防災技術株式会社 東京支店内(担当:斎藤,村田)

TEL 048-833-0427 FAX 048-833-0429

e-mail: landslide47th@jce.co.jp (県民講演会参加申し込み専用)

主催:(社)日本地すべり学会 共催:神奈川県立生命の星・地球博物館 後援:神奈川県

QRコードより申し込み専用のメールアドレスを読み込むことができます。



大涌谷地すべり(箱根町)

県民講演会「神奈川県地形・地質と自然災害」のご案内

(社)日本地すべり学会では、全国の地すべり研究者、行政の防災担当者、民間企業の防災技術者等の研究発表の場として「研究発表会」を毎年開催しております。今年は、8月27日～29日にかけて、神奈川県箱根町での開催となりました。

当学会では、お世話になる開催県の皆様への恩返しとして、毎年研究発表会に先だって【県民講演会】を行っています。今年の県民講演会は、神奈川県立生命の星・地球博物館との共催で行いますが、第一部では、地元神奈川県の地質に詳しい当博物館の平田学芸部長に、神奈川県の地形や地質の成り立ちについて講演頂く予定です。また、第二部では、土砂災害の専門家である井上先生に、地元神奈川県で起きた過去の土砂災害の事例について講演頂く予定です。

箱根火山や丹沢山地など、現在の神奈川県の大地が、地球史のながい時間の中でどのようにしてつくられたのか？また、富士山の噴火や関東大震災などで、箱根周辺や神奈川県内でこんな被害があったといった話を、小学校高学年、中学生の方々にも理解できるようにお話します。災害の話はともすれば風化しがちですが、親御さんや地元の方と一緒に聞いて頂き、日頃の防災意識向上に少しでも役立つような内容を予定しています。

講演概要

第一部 1億年にわたる大地変動の歴史

- プレート境界域にできた神奈川の大地 - (平田大二先生)

日本は火山と地震の国といわれるほど火山活動や地震が多く、世界でも有数の地殻変動の激しい地域です。それは、日本列島周辺で太平洋プレート、フィリピン海プレート、北米プレート、ユーラシアプレートと呼ばれる4つのプレートが押し合いへし合い、ひしめき合っていることに原因があります。日本列島のほぼ中央に位置する神奈川の大地も、そのようなプレートの動きの結果として出来上がってきました。東部の台地や丘陵がひろがる平らな地域と、西部の丹沢山地、箱根火山などが連なる山地からできています。この神奈川の大地をつくるのは、約一億年前から数千年前までにできた火成岩、堆積岩、変成岩などです。「災害は忘れた頃にやってくる」という言葉もありますが、雲仙普賢岳や三宅島雄山、有珠山などの噴火や、今年6月の岩手宮城内陸地震や昨年の新潟県中越沖地震などは、まだ記憶に新しいところです。県内にも活火山である箱根火山や、巨大地震を起すと予想されている活断層もありますが、それらも、プレートの動きに深く関係しています。本講演では、1億年にわたりプレート境界域にできた神奈川の大地の変動の歴史を紹介します。

第二部 神奈川県内の大規模で広範囲な土砂災害の事例紹介

- 富士山宝永噴火(1707)と関東地震(1923)による - (井上公夫先生)

井上先生は、中央防災会議災害教訓の継承に関する専門調査会の「1707富士山宝永噴火」、「1923関東大震災」分科会の委員として、多くの土砂災害の事例を収集・調査してきました。富士山宝永噴火(1707)により厚く降り積もった火山砂礫と関東地震(1923)時の激震によって、神奈川県内には激甚な土砂災害が発生しました。これらは、噴火時や地震時だけでなく、長期間にわたり神奈川県民などに土砂災害を与え続けました。これらの災害は今から300年、85年前の現象ですが、苦難の連続の中で、これらの災害を克服してきた結果として、神奈川の県土が成り立っています。陸軍陸地測量部は、関東地震直後の9月6日～15日という短期間で、94名もの要員を配して、『震災地応急測図原図』を作成しました。本講演では、今まで専門家でもその存在をほとんど知らなかった応急測図原図をもとに、神奈川県全域(特に箱根地域)で発生した土砂災害の事例を紹介します。

平成20年度 (社)日本地すべり学会研究発表会 県民講演会 入場申込書 (FAX専用)

参加者氏名	連絡先 (電子メールアドレスあるいはFAX番号)

申込先: (社)日本地すべり学会 神奈川大会事務局 FAX番号: 048-833-0429 E-mail: landslide47th@jce.co.jp